



● 草の根パートナー型

平成25年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア
2. 事業名	最貧困家庭の女性の経済的自立を目的としたコミュニティファクトリー事業の自立化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	対象地域であるソトニコム地区およびチクライエン地区は同国内でも貧困度合が高く、そこに暮らす最貧困層の家庭は安定した収入を得ることができず、社会的・経済的に非常に脆弱である。そのため、家計を補うためにタイや都市部に危険な出稼ぎにでることが多く、その過程で人身取引の被害にあう女性や子どもが今なお発生している。当団体では、家庭の脆弱性を改善するために、2008年にソトニコム地区にい草を使ったハンディクラフト製品を生産するコミュニティファクトリー（以下、CF）を立上げ、現地の女性たちに持続的な雇用の機会を提供してきている。女性たちに持続的な雇用による安定的な収入と生活をするうえで必要なライフスキル獲得の機会を提供することで、女性たちの経済的自立化を支援し貧困を削減するとともに、継続的に現地のニーズに即した形で運営を可能とするために事業の現地化・自立化を実現することが求められている。
4. プロジェクト目標	ソトニコム地区、チクライエン地区の最貧困層の女性達が持続的に収入を得て、生活を改善していくことが出来るよう事業の現地化・自立を行うこと
5. 対象地域	シェムリアップ州 ソトニコム地区およびチクライエン地区
6. 受益者層（ターゲットグループ）	<直接受益者> 対象地域の社会的・経済的に最も脆弱な家庭の女性 <間接受益者> 女性たち家族
7. 期待されるアウトプット及び活動	<アウトプット> 1.【女性の自立】より多くの女性の収入が向上しライフスキルを獲得する 2.【事業の黒字化】日本からの投入に頼らない経済的な運営基盤が整う 3.【事業運営の現地化】カンボジア人によるCF運営能力が強化される <活動> 1.最貧困層の女性を採用、ライフスキルの獲得状況を評価する指標の開発を行う、ライフスキルトレーニングの実施、識字教室等の実施 2.月次で損益計算書を分析、商品開発の推進、直営店のリノベーション、ショップスタッフトレーニングの実施 3.カンボジア人の次期代表を選出、カンボジア人マネジメントチーム主体の事業運営と長期経営計画策定、運営の自立を判定する第三者評価の実施
8. 実施期間	2014年4月～2017年7月（3年4ヵ月）
9. 事業費概算額	51,169千円
10. 事業の実施体制	プロジェクトマネージャー監督のもと、現地調整員を2名配置し、本事業の実施にあたる。事業の自立化・現地化を推進するために、カンボジア人スタッフのマネジメントチーム強化に重点を置き、彼ら主体で経営計画を策定されるような体制にする。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト
2. 活動内容	強制的に子どもが売られてしまう問題を防止する活動を、持続的かつ発展的に行い世界の子どもたちが未来への希望を持って生きられるよう活動している。被害者の減少に一定の評価がでているカンボジアにおいては、貧困削減活動と行政に対して持続的な支援を行っている。